

# 令和元年度 行政区長紹介

4月23日に行政区長会議が開催され、行政区長へ委嘱状が交付されました。皆さんと行政を結ぶパイプ役を担っていただく行政区長をご紹介します。

## ■上双珠別

堀井 次正 さん

## ■下双珠別

伊藤 親良 さん

## ■中央第二

鈴木 雅士 さん

## ■宮下

稲田 實 さん

## ■本通

窪田 敏雄 さん

## ■千歳

児玉 眞澄 さん

## ■高台

安田 堅吾 さん

## ■美園

藤岡 将弘 さん

## ■占冠第一

大谷 元江 さん

## ■占冠市街

山崎 正紀 さん

## ■上トママ第一

江頭謙一郎 さん

## ■上トママ第二

安居 明美 さん

## ■中トママ

瀬屑 文郷 さん

# ささいな悩みでもお気軽にご相談ください。

## これからも

### 地域と共に

民生委員・児童委員は、様々な活動を通じて、皆様の安心を支えています。これからも地域福祉の中核として取組みを強化していくとともに、地域住民や地域の多様な主体が住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けて活動していきます。

## 地域の身近な相談相手

民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。給与の支給はなく、ボランティアとして、占冠村では9名（うち2名は主任児童委員）の委員が活動しています。村民の身近な相談相手として、常に住民の立場に立ち、生活上の心配ごとや困りごとなどの相談に広く応じるとともに、行政や専門機関へのパイプ役として、関係行政機関の業務にも

協力しています。

個人の秘密は固く守られますので、日常生活での困りごとや悩みごとなどがありましたら、お近くの民生委員児童委員にお気軽にご相談ください。

### 【暮らしのこと】

- 住まいに関すること
- 近所付き合いに関すること
- 生活費に関すること
- 生活福祉資金など各種貸付制の利用に関すること
- 生活保護に関すること
- 遊び場、通学路などの危険箇所に関すること

### 【在宅生活に関すること】

- 公害や環境衛生に関すること
- 毎日の介護で困っていること
- 福祉サービスの利用に関すること
- 介護保険制度に関すること
- 施設利用に関すること

### 【家族関係のこと】

- 結婚、離婚に関すること
- 親子関係に関すること
- 扶養に関すること
- 相続に関すること

### 【育児・教育のこと】

- 育児やしつけに関すること

○いじめや不登校に関すること

- 学校生活の悩みに関すること
- 非行に関すること
- 児童虐待に関すること

### 【その他】

○心身の疾病や障がいに関する相談等

### ■占冠村民生委員・児童委員

- 鈴木 雅士さん(中央第二)
- 鷲尾 心英さん(宮下)
- 窪田 敏雄さん(本通)
- 児玉 仁子さん(千歳)
- 大和 妙子さん(占冠第一)
- 大沼八恵子さん(占冠市街)
- 坂口 誠 さん(上トママ)
- ※( )内は担当区

### ■主任児童委員

- 江頭 恵美さん(全村)
- 長瀬 明美さん(全村)
- ※( )内は担当区

◎子どものことを専門に担当し活動します。

### ■お問い合わせ

福祉子育て支援課  
社会福祉担当  
電話 56・2125

# ごみを減らすためにできることを。 リサイクル、リデュース、リユース活動

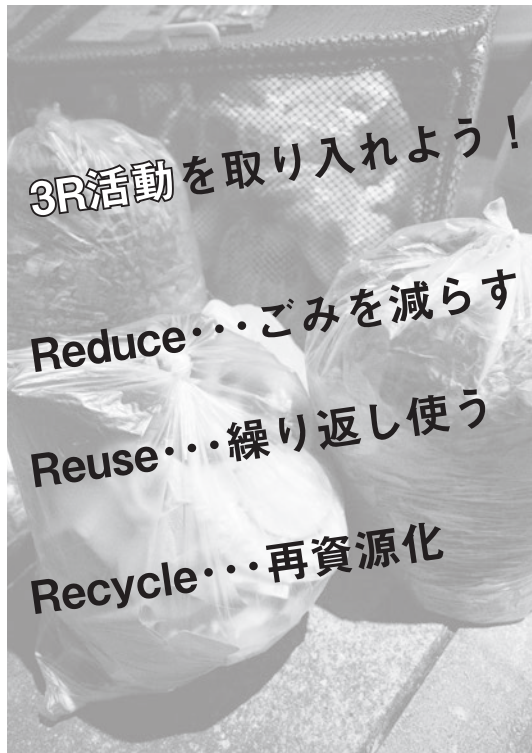
大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは、処理しきれないほどの廃棄物を生み出しています。それにより、ごみ埋め立て処分場が不足したり、石油などの貴重な資源の枯渇も心配されるなど、様々な問題が発生しています。このような「使い捨て型社会」から脱し、「循環型社会」に変えていくことが必要です。

私たちは、普段の生活の中でたくさんのごみを排出しています。持続可能な循環型社会を皆で作って上げていくためには、①ごみを減らす（リデュース）、②繰り返し使う（リユース）、③再資源化する（リサイクル）が求められています。この3つの頭文字をとった『3R（スリーアール）』は、ごみを減らすためのキーワードです。6月は地球の環境について考える『環境月間』です。少しの意識の違いで減らせるごみもあります。これから紹介する『3R活動』を生

活に取り入れ、ごみの減量にチャレンジしてみましよう。

**リサイクル活動  
まずはしっかりと分別すること**

なぜ、ごみは分別されなければならぬのでしょうか。家庭で排出されるたくさんのごみを分別するのは正直手間がかかりますよね。しかし、ごみの中には、まだまだ使える資源が多く眠っています。ごみが資源となるか、焼却されたり、埋立てられるかはごみを捨てる時に決まります。家庭で不要になつたものはきちんと分別して排出しましょう。ごみと分別された再生資源が製品製造に使用されることで、結果としてごみの減量につながるのです。ぜひ、「分ければ資源、混ぜればごみ」という認識を持って、きちんと分別しましょう。



**リデュース、リユース活動  
ごみを減らす、使えるものをごみにしない**

リサイクルだけでは、資源の枯渇や二酸化炭素の排出を止めることはできません。ごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会をつくるためには、リサイクルに加えて、リデュース、リユース活動に取り組むことが大切です。食品ロスを少しでも減らす『食べきり運動』や、物を繰り返し大切に長く使う行動などリデュース、リユースを積極的に推進していきましょう。

**残り物をださないこと  
とで生ごみの減少**

料理をするとき、作りすぎないようにすること、冷蔵庫の残り物や、今まで捨てていた野菜の皮や茎を、美味しく調理する方法を考えてみることで生ごみを減らすことができます。

**買い物の仕方を変えるだけ。その買い物か、ごみになりませんか。**

買い物はシンプルライフへの入口。買い物の仕方を変えることで、ごみも減り、ライフスタイルも変わります。次の点に気をつけましょう。

- ・マイバッグを持参
- ・長く使えるものを選ぶ
- ・本当に必要なかどうか考える
- ・子ども服、用品はママ、パパのネットワークで循環するのが望ましいです。リユースショップやフリーマーケットも活用しましょう。